

一ディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(264)(HP 収載) —ベートーヴェンの《合唱幻想曲》—

1. 始めに

前報(263)に引き続き、STAGE+のベートーヴェンの《合唱幻想曲》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のベートーヴェンの《合唱幻想曲》の演奏を選びました。

オピッツとジェルメッティの共演によるベートーヴェンの《合唱幻想曲》

アマンドゥス教会

収録日: 1987年9月25日

ソリスト:

ゲルハルト・オピッツ (ピアノ)

演奏:

シュトゥットガルト放送交響楽団

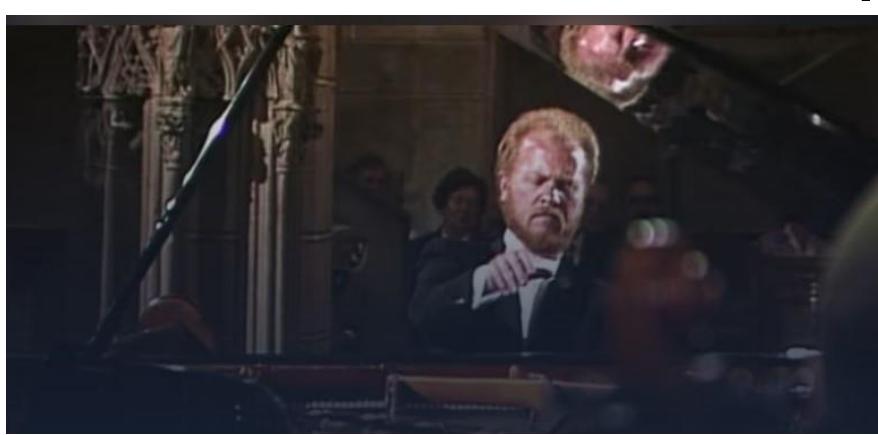
SWR ヴォーカルアンサンブル・シュトゥットガルト

指揮:

ジャンルイジ・ジェルメッティ

曲目:

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン 《合唱幻想曲》ハ短調 op. 80



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用して

います。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結しています。また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。さらに今回も、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には OPT ISO BOX に代って LAN iPurifier Pro を適用しています。

今回も、OPT ISO BOX の導入(21)で設定したように PC の受信から GPS クロックを入力した SWD-DA20 に送り出して再生しています。

ベートーヴェンの《合唱幻想曲》は、ベートーヴェンの第 9 交響曲の下敷きになったと言われている曲で、合唱付きのピアノ協奏曲のかたちをとっています。

オピッツ のピアノは力強く、鮮やかにこの曲を表現しています。

ジェルメッティ指揮のシュトゥットガルト放送交響楽団と合唱陣も、教会収録の豊かな響きの中でスケールの大きい演奏です。ピアノとオーケストラと合唱が混然となつたスケールの大きい演奏が、教会収録の環境で活かされていました。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune に Crystal E を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と LAN iPurifier Pro を適用し、さらに GPS クロックを入力した SWD-DA20 に送り出して再生した結果、ピアノとオーケストラと合唱が混然となったスケールの大きい演奏が、教会収録の環境で活かされていました。

以上